



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-3259-7062

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	110,094	4.5	2,691	53.7	3,325	42.3	1,883	56.7
29年3月期第2四半期	105,380	8.4	5,809	14.2	5,764	15.6	4,352	9.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,708百万円 (%) 29年3月期第2四半期 1,886百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	46.29	
29年3月期第2四半期	105.91	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	318,205	177,539	54.8
29年3月期	314,974	172,950	54.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 174,531百万円 29年3月期 170,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		5.00	11.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしましたので、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

(注2) 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	224,000	2.1	7,000	46.1	7,500	50.3	4,200	60.8	103.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	42,975,995 株	29年3月期	42,975,995 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,500,565 株	29年3月期	2,067,511 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	40,692,058 株	29年3月期2Q	41,100,680 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第103回定時株主総会において、株式併合について承認されたことを受け、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 5円00銭(注1) 期末 5円00銭(注2)
- 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 期末 20円70銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加等を背景に企業収益の改善が進んでおり、雇用環境の改善基調が続く中、個人消費にも回復の兆しが見られるなど、景気は全体として緩やかな回復基調となりました。

一方、世界経済は、米国では企業収益の改善や良好な雇用環境を背景に景気回復が続いているものの、米国の政策動向、中国の財政・金融政策の引き締めによる景気減速の懸念、世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は110,094百万円と前年同期比4.5%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比2,439百万円減少の3,325百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2,469百万円減少の1,883百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、新設住宅着工戸数は対前年並みで推移しておりますが、工期遅れ等の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、北米での販売の減速、一部顧客の在庫調整により外貨建てでは減少したものの、堅調な国内市場並びに為替の影響により、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品を中心に、市場での緩やかな回復が見られたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は72,830百万円(前年同期比4.9%増)となり、損益につきましては1,077百万円の営業損失(前年同期比2,353百万円の悪化)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、フルオロカーボン製品の出荷が低調に推移しましたが、弗酸等の需要が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬品関連製品の出荷が低調に推移したものの、半導体用途の特殊ガス関連製品やリチウムイオン電池用電解液製品、及び農薬関連製品の出荷が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、省力肥料の出荷は増加しましたが、販売価格低下の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野及び電材分野の出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期並となりました。

以上、化成品事業の売上高は37,263百万円(前年同期比3.7%増)となり、損益につきましては3,768百万円の営業利益(前年同期比764百万円の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、設備投資の支払などにより現金及び預金が6,817百万円減少する一方、株価の上昇などにより投資有価証券が8,757百万円増加したことなどにより、3,230百万円増加し318,205百万円となりました。

負債は、その他固定負債が2,370百万円増加する一方、設備投資の支払などによりその他流動負債が5,164百万円減少したことなどにより、1,358百万円減少し140,665百万円となりました。

純資産は配当の支払と自己株式の取得により2,024百万円、円高により為替換算調整勘定が938百万円減少する一方、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が5,586百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,883百万円増加したことなどにより、4,589百万円増加し177,539百万円となりました。また、自己資本比率は0.8%増加し54.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、6,743百万円減少し、23,703百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前四半期純利益3,231百万円、減価償却費5,940百万円などにより、7,774百万円の収入(前年同期は7,855百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の取得による支出12,401百万円などにより、13,457百万円の支出(前年同期は8,233百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、長短借入金の増加による収入949百万円、配当の支払と自己株式の取得による支出2,024百万円などにより、1,079百万円の支出(前年同期は1,862百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内の景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の動向、原油や中国の環境規制等による原燃料価格の上昇など、当社グループを取り巻く環境は今後も予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、生産販売体制の強化と原価低減の推進など経営全般にわたる効率化を進めるとともに、研究開発及び技術開発を強化し、成長分野への経営資源の重点的な投入を行い、グループ企業力の強化に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績進捗状況を踏まえ、平成29年5月11日に公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、通期の業績の見通しにおける下期の前提条件につきましては、為替レートを110円/USドル、原油価格をCIF 53ドル/バレルとしております。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	228,000	11,500	12,000	8,300	204.55
今回発表予想(B)	224,000	7,000	7,500	4,200	103.49
増減額(B-A)	△4,000	△4,500	△4,500	△4,100	
増減率(%)	△1.8	△39.1	△37.5	△49.4	
(ご参考)前期実績(平成29年3月期)	228,898	12,982	15,091	10,703	261.02

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,342	24,525
受取手形及び売掛金	49,439	48,444
商品及び製品	24,690	25,273
仕掛品	3,882	5,238
原材料及び貯蔵品	16,051	15,871
その他	6,833	6,802
貸倒引当金	△130	△169
流動資産合計	132,109	125,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,386	30,141
機械装置及び運搬具(純額)	42,130	47,674
土地	26,728	26,642
建設仮勘定	16,955	9,314
その他(純額)	3,501	3,509
有形固定資産合計	116,703	117,281
無形固定資産		
のれん	41	21
その他	1,371	1,357
無形固定資産合計	1,413	1,378
投資その他の資産		
投資有価証券	59,104	67,861
その他	5,921	5,969
貸倒引当金	△277	△272
投資その他の資産合計	64,748	73,558
固定資産合計	182,865	192,218
資産合計	314,974	318,205

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,122	19,678
短期借入金	21,159	23,949
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,195	1,458
賞与引当金	1,461	1,516
その他	24,491	19,326
流動負債合計	77,429	75,930
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	21,913	19,509
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	5,089	5,401
事業構造改善引当金	3,053	2,792
環境対策引当金	145	100
退職給付に係る負債	7,518	7,688
その他	6,459	8,830
固定負債合計	64,594	64,735
負債合計	142,024	140,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	123,309	124,169
自己株式	△5,383	△6,384
株主資本合計	144,211	144,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,363	30,950
繰延ヘッジ損益	4	37
為替換算調整勘定	152	△785
退職給付に係る調整累計額	289	258
その他の包括利益累計額合計	25,809	30,460
非支配株主持分	2,929	3,008
純資産合計	172,950	177,539
負債純資産合計	314,974	318,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	105,380	110,094
売上原価	82,565	89,722
売上総利益	22,814	20,371
販売費及び一般管理費	17,005	17,680
営業利益	5,809	2,691
営業外収益		
受取利息	11	26
受取配当金	622	657
持分法による投資利益	193	195
為替差益	—	0
貯蔵品売却益	307	361
その他	424	481
営業外収益合計	1,559	1,723
営業外費用		
支払利息	222	287
為替差損	589	—
固定資産廃棄損	237	271
その他	554	530
営業外費用合計	1,604	1,089
経常利益	5,764	3,325
特別利益		
固定資産売却益	17	—
投資有価証券売却益	102	0
特別利益合計	119	0
特別損失		
固定資産売却損	—	37
減損損失	—	56
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	94
税金等調整前四半期純利益	5,884	3,231
法人税等	1,380	1,177
四半期純利益	4,503	2,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	169
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,352	1,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,503	2,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	533	5,586
繰延ヘッジ損益	12	33
為替換算調整勘定	△6,375	△901
退職給付に係る調整額	△57	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	△504	△31
その他の包括利益合計	△6,390	4,655
四半期包括利益	△1,886	6,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,774	6,534
非支配株主に係る四半期包括利益	△112	173

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,884	3,231
減価償却費	4,941	5,940
減損損失	—	56
のれん償却額	20	21
引当金の増減額(△は減少)	△133	94
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72	120
受取利息及び受取配当金	△634	△684
支払利息	222	287
持分法による投資損益(△は益)	△193	△195
投資有価証券売却損益(△は益)	△102	0
固定資産売却損益(△は益)	△38	29
固定資産廃棄損	237	271
売上債権の増減額(△は増加)	△83	751
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	△1,859
仕入債務の増減額(△は減少)	248	716
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,139	1,001
未払費用の増減額(△は減少)	△434	△1,093
その他	981	△581
小計	9,480	8,108
利息及び配当金の受取額	682	824
利息の支払額	△245	△301
法人税等の支払額	△2,061	△857
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,855	7,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△89	△137
定期預金の払戻による収入	94	219
有形固定資産の取得による支出	△8,748	△12,401
有形固定資産の売却による収入	62	11
投資有価証券の取得による支出	△7	△606
投資有価証券の売却及び償還による収入	771	8
その他	△316	△550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,233	△13,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,221	3,358
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	3,000	—
長期借入れによる収入	10,906	500
長期借入金の返済による支出	△4,434	△2,909
自己株式の取得による支出	△1,001	△1,001
配当金の支払額	△1,032	△1,022
非支配株主への配当金の支払額	△74	—
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,862	△1,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△784	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,024	△6,743
現金及び現金同等物の期首残高	18,851	30,446
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,893	23,703

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,461	35,919	105,380	—	105,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	509	604	△604	—
計	69,556	36,428	105,984	△604	105,380
セグメント利益 (営業利益)	1,276	4,532	5,809	—	5,809

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,830	37,263	110,094	—	110,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	524	602	△602	—
計	72,907	37,788	110,696	△602	110,094
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△1,077	3,768	2,691	—	2,691

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	—	56	56